

証券コード：6258

# 第65期第2四半期 HIRATA REPORT

平成27年4月1日～平成27年9月30日

**Hirata** The Global Production Engineering Company

平田機工株式会社

## 株主の皆さまへ

代表取締役社長 平田 雄一郎



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第65期第2四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済情勢は、米国の堅調な成長持続および欧州の緩やかな景気回復が継続しております。しかし、中国では、民間投資の鈍化に加え、輸出においても足踏み状態となっていることなど、景気の減速懸念が高まっております。一方、国内景気は、円安・原油安による企業業績の回復や、雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済の減速による世界同時株安の影響など、先行きに対する不透明感も残っております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、受注量の拡大や、コスト競争力を強化するために、海外子会社との協力、連携により現地調達、現地生産比率を高めるなどグローバル市場での事業拡大に注力してまいりました。また、国内市場におきましては、既存のお客さま、既存市場に対するシェアの拡大や、今後成長が見込まれる事業領域に注力するなど、売上規模と収益の拡大のために営業活動を強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は255億97百万円(前年同期比22.7%増)となり、営業利益は17億13百万円(前年同期比103.4%増)、経常利益は16億37百万円(前年同期比100.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億58百万円(前年同期比111.7%増)となりました。

## 通期業績の見込みについて

通期の連結売上高につきましては、下半期は、すでに受注している大型案件などに対応するため、高い生産状況が続く見込みでありますので、各事業部間のリソース活用による負荷調整および各案件の確実な利益確保に注力いたします。なお、中国の景気減速懸念はあるものの、堅調な米国の自動車関連や半導体、家電関連の引合案件を着実に受注に結びつけることにより、連結業績予想達成を見込んでおります。

このような事業環境のもと、当社グループにおきまして

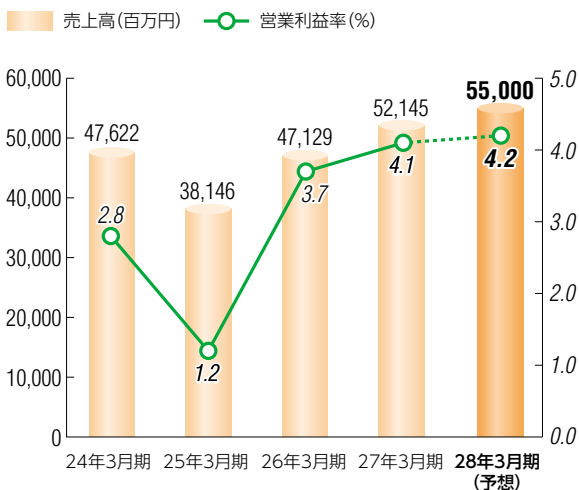
は、中期経営計画「One Hirata for Next Stage ~ Win the race across the globe~」の初年度として、Hirataグループの力を結集し、世界トップ企業から、グローバルに競争力のある生産システム・インテグレータとしての評価の確立を目指し、新たな市場や事業領域に果敢に挑戦してまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### ■ 平成28年3月期 第2四半期 累計実績と通期業績予想(連結)

項目	第2四半期 累計実績	通期業績予想
売上高	255億円	550億円
営業利益	17.1億円	23億円
経常利益	16.3億円	22億円
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	9.5億円	14億円
1株あたり四半期 (当期)純利益	91.94円	134.84円
1株あたり配当金	0.00円	15.00円

### ■ 連結売上高・営業利益率推移



## 北米の子会社の工場で開所式開催

### 北米での生産体制強化へ

2014年度に操業を開始したHirata Corporation of Americaのニューハドソン工場にて、5月19日に開所式を行いました。この工場は旧工場の4倍の生産面積を持ち、自動車パワートレイン関連の生産設備の試運転が可能です。お客さまのものづくり現場の、より近いところに対応したいという長年の構想が実現しました。今後も、海外子会社との協力・連携により、グローバル市場での事業拡大に注力してまいります。



開所式の様子。生産面積は以前の4倍に。

## 工作機械向けパレット自動供給搬送システムを開発

### 最大可搬重量4トンの工作機械に対応可能

最大可搬重量4トンを搬送できる工作機械向けパレット自動供給搬送システムを開発し、11月から販売いたしました。本システムにより、多品種加工物の自動供給、加工後の排出・搬送、保管などが可能となります。また、当社は、内製化および生産性の向上の取り組みとして、本システムを9月から社内に導入し、生産性2倍を実現しました。



### 主な特長

#### 1. 最大可搬重量4トン、24時間以上の連続稼働を実現し、省人化に貢献

市販されている大型の模型工作機械の加工品の重量を考慮し、最大可搬重量を4トンと設定。セット済みの加工品を複数ストックすることもできます。これにより、24時間を超える連続生産が可能となり、省人化につながりました。

#### 2. 加工品段取機により、作業負荷が軽減し、安全性が向上

起倒回転できる加工品段取機により、作業者の姿勢、目線に合わせて治具の向きや角度が変えられるため、人手による重量物の移動、取付作業の負荷が軽減され、安全性も向上しました。

#### 3. 各ユニットのモジュール化により、お客さまの工場に柔軟対応

各ユニットはモジュール化しており、設置の増減が簡単です。搬送ロボットの走行軸の長さ、パレットおよびストッカーの数などはお客さまのご要望に合わせてご準備できます。

今後、小型および中型の工作機械向けのシステムの販売も計画しており、さらなるものづくりへの貢献に努めます。

## お客さまのために

当社は、さまざまな産業分野において、お客さまに生産システムをお届けしており、品質や納期などの面で高い評価をいただいています。今期、お客さまからいただいた賞などを紹介いたします。これからも日々進化するものづくりの現場のニーズにお応えし、お客さまの願いを形にできる企業であり続けます。

### ■大和ハウス工業株式会社から感謝状

#### Hirata製ロボット200台以上採用

当社は、5月25日、大和ハウス工業株式会社より、個人注文住宅xevoΣ（ジーヴォシグマ）の外壁パネル生産ラインにおいて、緻密なスケジュール管理による短納期対応などが評価され、感謝状をいただきました。本ラインは、Hirata製の直交型ロボットなど200台以上が採用され、大和ハウスの岡山工場、奈良工場、栃木工場で稼働しています。



### ■2年連続 ダイソン社から表彰

#### コードレスクリーナー用V6モーター組立ラインにおける生産体制の構築、小型化高精度を実現

6月16日、シンガポールにて、ダイソン社主催のサプライヤーミーティングが開催され、当社は「Recognition award lean (ダイソン社の方針に沿った対応への功労賞)」を受賞しました。昨年の優良サプライヤーに続き、2年連続の受賞です。

当社は、ダイソン社から掃除機のモーター生産設備を多数受注しており、今回は同社の主力製品である、コードレスクリーナー用V6モーター組立ラインにおける600万台/年の生産体制の構築、ムダをなくした小型化高精度の実現、スピードある柔軟な対応などが評価され、受賞となりました。

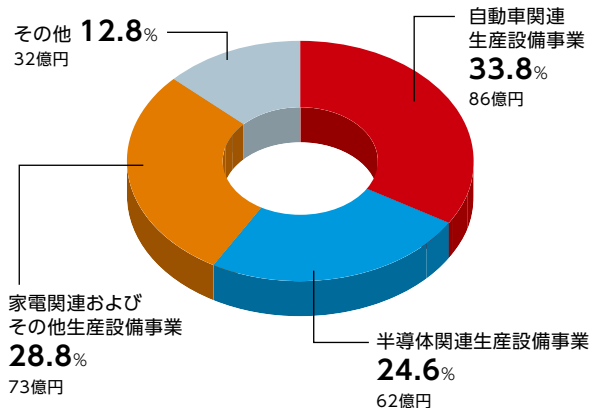


Supplier Award 2015での受賞の様子

## 事業部門別概況

### 当期売上高内訳

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)



売上高

**255**億円

受注高

**235**億円

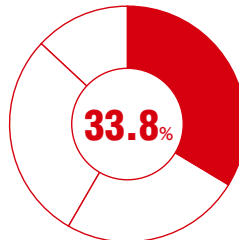
受注残高

**218**億円

当第2四半期の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連が86億円で全体の33.8%、半導体関連が62億円で24.6%、家電関連その他が73億円で28.8%となっています。

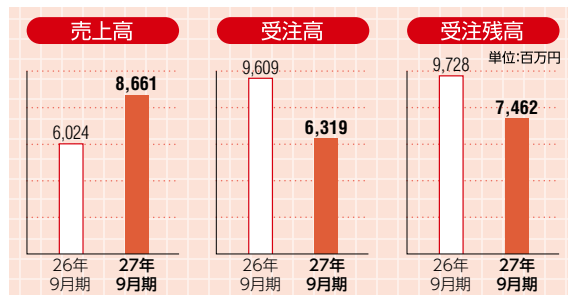
## 自動車関連生産設備事業

エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 **86**億円

対前年同期増減率 **+43.8%**



### 第65期 第2四半期実績

自動車関連生産設備は、北米市場向けのパワートレイン関連設備や、国内自動車部品メーカー向け設備などが堅調に推移し、売上高は前年同期比43.8%増の86億61百万円となりました。

下期の売上高は約93億円を予想しており、通期では180億円を計上する見込みです。



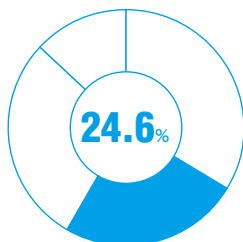
エンジン組立ライン



クラッチ組立装置

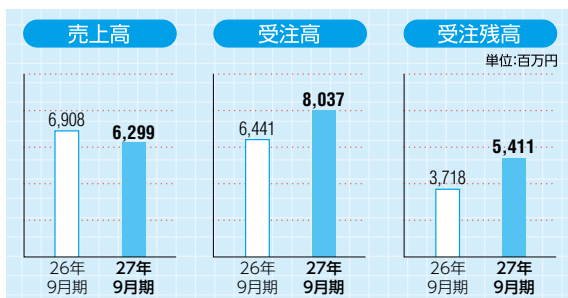
## 半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、レジスト塗布装置などのFPD関連生産設備の製造・販売



売上高 **62**億円

対前年同期  
増減率  $\Delta$  **8.8%**



### 第65期 第2四半期実績

半導体関連生産設備は、シリコンウェーハ搬送設備案件や、製造受託案件など受注、売上げとも予定どおりに推移しましたが、売上高は前年同期比8.8%減の62億99百万円となりました。

下期の売上高は約97億円を予想しており、通期では160億円を計上する見込みです。



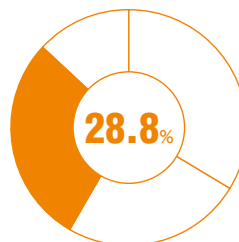
ウェーハ真空搬送ロボット



450mm EFEM/ソーター

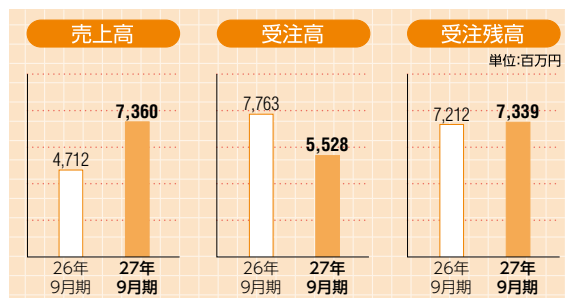
## 家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、テレビ、掃除機などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **73**億円

対前年同期  
増減率 **+56.2%**



### 第65期 第2四半期実績

家電関連およびその他生産設備は、白物家電を中心とした組立設備案件や、タイヤ関連設備の案件が堅調に推移し、売上高は前年同期比56.2%増の73億60百万円となりました。

下期の売上高は、約76億円を予想しており、通期では150億円を計上する見込みです。



鋼板自動面取り装置



家電部品組立ライン

# 連結財務諸表(要約)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計 期間 (26.9.30)	当第2四半期 連結会計 期間 (27.9.30)	前連結会計 年度 (27.3.31)
<b>【資産の部】</b>			
<b>流動資産</b>	37,403	39,608	42,033
現金及び預金	9,213	9,642	9,389
受取手形及び売掛金 <b>1</b>	18,895	21,037	24,713
商品及び製品	128	136	167
仕掛品…………… <b>2</b>	6,146	5,893	4,569
原材料及び貯蔵品	329	400	356
繰延税金資産	1,836	1,447	1,850
その他	865	1,107	1,056
貸倒引当金	△ 10	△ 57	△ 68
<b>固定資産</b>	19,615	20,434	19,764
有形固定資産	15,748	15,609	15,705
建物及び構築物	4,177	4,165	4,216
土地	9,760	9,723	9,736
その他	1,810	1,720	1,751
無形固定資産	399	429	432
投資その他の資産	3,467	4,396	3,627
投資有価証券	2,419	2,990	2,728
破産更正債権等	41	38	38
退職給付に係る資産	—	844	464
繰延税金資産	574	3	6
その他	599	747	585
貸倒引当金	△ 167	△ 227	△ 196
<b>資産合計</b>	<b>57,018</b>	<b>60,043</b>	<b>61,798</b>

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計 期間 (26.9.30)	当第2四半期 連結会計 期間 (27.9.30)	前連結会計 年度 (27.3.31)
<b>【負債の部】</b>			
<b>流動負債</b>	24,381	27,948	28,351
支払手形及び買掛金 <b>3</b>	8,252	10,198	11,353
短期借入金	6,448	6,551	7,448
1年以内返済予定の長期借入金 <b>4</b>	3,439	6,493	3,844
前受金	2,689	1,653	1,330
その他	3,550	3,052	4,373
<b>固定負債</b>	12,848	8,708	11,582
長期借入金…………… <b>4</b>	9,230	5,363	8,432
その他	3,617	3,345	3,149
<b>負債合計</b>	<b>37,229</b>	<b>36,657</b>	<b>39,933</b>
<b>【純資産の部】</b>			
<b>株主資本</b>	15,502	16,940	16,015
資本金	2,633	2,633	2,633
資本剰余金	2,322	2,414	2,322
利益剰余金	10,852	12,153	11,352
自己株式	△ 306	△ 261	△ 293
その他の包括利益累計額	4,068	6,090	5,579
非支配株主持分	218	355	269
<b>純資産合計</b>	<b>19,789</b>	<b>23,386</b>	<b>21,864</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>57,018</b>	<b>60,043</b>	<b>61,798</b>

## ポイント

### 1 受取手形及び売掛金

受取手形及び売掛金は、売掛金などの回収が順調に進み、前期末比36億75百万円の減少となりました。

### 2 仕掛品

仕掛品は、前年度末からの多くの受注残高に支えられ、生産高が増加したことにより、前期末比13億24百万円の増加となりました。

### 3 支払手形及び買掛金

支払手形及び買掛金は、仕入れ、外注費などの減少に伴い、前期末比11億55百万円の減少となりました。

### 4 有利子負債

売掛金などの回収が進み、借入金の返済に充てた結果、前期末比13億17百万円の減少となりました。



#### ■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期
	〔自 26.4.1 至 26.9.30〕	〔自 27.4.1 至 27.9.30〕	〔自 26.4.1 至 27.3.31〕
売上高	20,865	25,597	52,145
売上原価	17,013	20,567	43,763
売上総利益	3,852	5,029	8,382
販売費及び一般管理費	3,010	3,316	6,259
営業利益	842	1,713	2,123
営業外収益	88	96	154
営業外費用	112	172	315
経常利益	818	1,637	1,962
特別利益	1	0	6
特別損失	1	3	33
税金等調整前四半期 (当期)純利益	817	1,634	1,935
法人税等	343	690	934
四半期(当期)純利益	474	943	1,000
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	21	△ 15	53
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	452	958	946

#### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期
	〔自 26.4.1 至 26.9.30〕	〔自 27.4.1 至 27.9.30〕	〔自 26.4.1 至 27.3.31〕
営業活動による キャッシュ・フロー	4,285	1,838	3,704
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 265	△ 457	△ 402
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 3,292	△ 1,334	△ 2,816
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 81	55	355
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	645	103	840
現金及び現金同等物 の期首残高	8,548	9,389	8,548
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	9,194	9,492	9,389

#### ポイント

##### 5 売上高

売上高は、自動車および家電関連を中心に堅調に推移し、前年同期比22.7%増の255億97百万円となりました。

##### 6 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

売上高の増加に加え、原価率の低減により、営業利益は前年同期比103.4%増の17億13百万円となりました。経常利益は、前年同期比100.1%増の16億37百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比111.7%増の9億58百万円となりました。

##### 7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益16億34百万円に対し、売上債権の減少37億24百万円、たな卸資産の増加13億37百万円、仕入債務の減少13億13百万円などにより、18億38百万円の収入となりました。

##### 8 投資活動によるキャッシュ・フロー

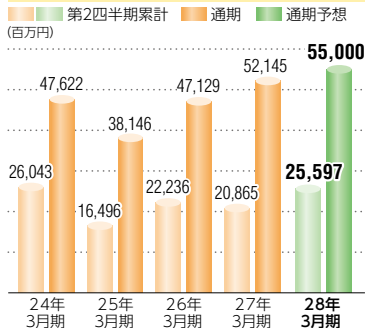
投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出2億7百万円、無形固定資産の取得による支出1億7百万円などにより、4億57百万円の支出となりました。

##### 9 財務活動によるキャッシュ・フロー

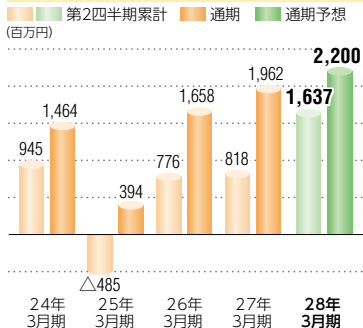
財務活動による資金は、短期借入金の減少9億19百万円、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出24億7百万円などにより、13億34百万円の支出となりました。

# 財務ハイライト

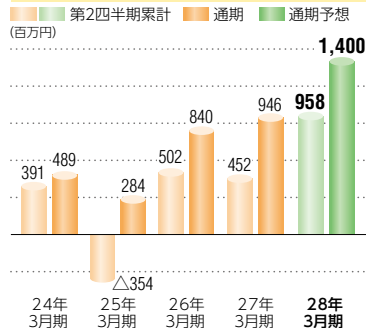
## 売上高



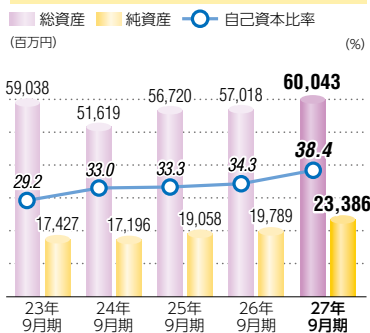
## 経常利益(損失)



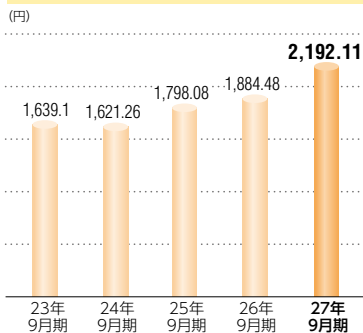
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)



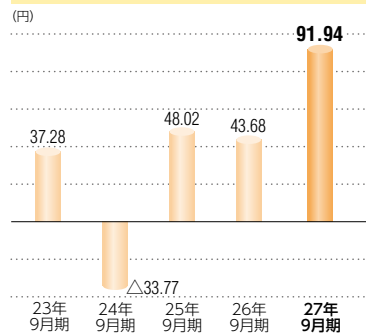
## 総資産／純資産



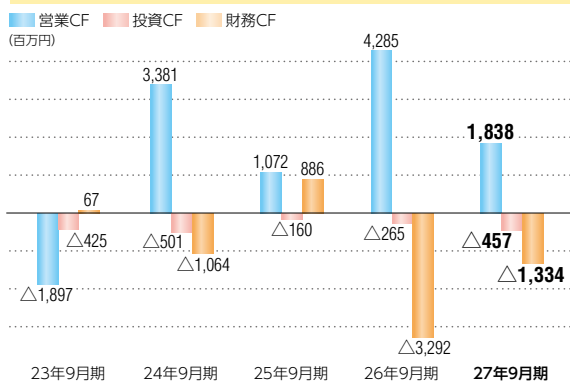
## 1株あたり純資産額



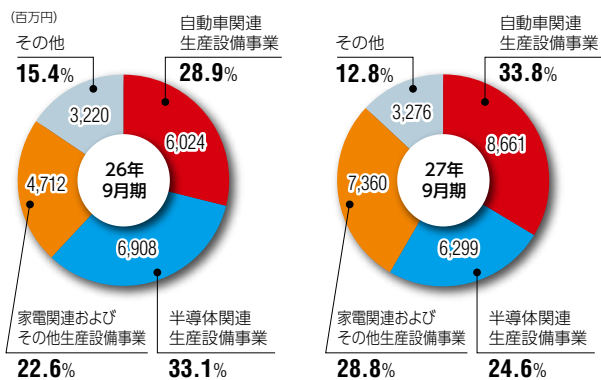
## 1株あたり四半期純利益(損失)



## キャッシュ・フロー



## 事業別売上高および比率



## 会社概要 (平成27年9月30日現在)

**会社名** 平田機工株式会社  
**会社設立** 1951年12月29日  
**資本金** 2,633百万円  
**従業員数** 2,015名(連結 平成27年9月30日現在)  
**業務内容** 各種生産システム、産業用ロボットおよび  
 物流関連機器等の製造ならびに販売  
**本社所在地** 東京都品川区戸越3丁目9番20号

**役員** 代表取締役社長 平田 雄一郎 常勤監査役 元田 直邦  
 代表取締役副社長執行役員 橘 勝義 監査役 村田 邦夫  
 取締役執行役員 田中 敏治 監査役 鳥巢 宣明  
 取締役執行役員 安高純一郎 監査役 今村 憲  
 取締役執行役員 藤原 五男 執行役員 上田 文雄  
 取締役執行役員 平賀 靖英 執行役員 平田正治郎  
 取締役執行役員 本郷 仁基 執行役員 河本 行広  
 取締役執行役員 黒田 健治 執行役員 印南 静男  
 取締役執行役員 市原 雄一 執行役員 藤本 靖博  
 社外取締役 雀部 博之 執行役員 兼子 利憲

## 株式の状況 (平成27年9月30日現在)

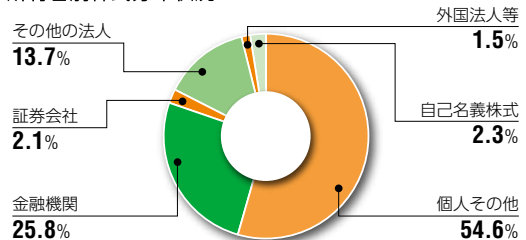
- 発行可能株式総数 37,000,000株
- 発行済株式総数 10,756,090株
- 株主数 2,209名

### 大株主の状況

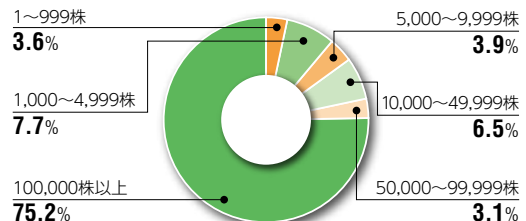
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
平田機工社員持株会	740,310	7.05
平田 雄一郎	583,000	5.55
SMC株式会社	500,000	4.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	459,100	4.37
株式会社肥後銀行	456,000	4.34
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託0700053	400,000	3.81
平田 満	361,429	3.44
平田 正治郎	326,300	3.11
平田 宏之	305,772	2.91
平田 滋夫	286,844	2.73

上記のほか、当社が保有している自己株式が249,641株あります。  
 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



### 所有株数別株式分布状況



## 株主メモおよびその他のIR情報

### 株主メモ (株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
証券コード	6258
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	<郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 <電話照会先> 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故 その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経 済新聞に掲載して公告します。

#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### その他のIR情報

当社ホームページの個人投資家向けのページには、当社の事業内容、業績の推移、あゆみなどさまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

#### ■ 平田機工株式会社ホームページ



<http://www.hirata.co.jp/>

#### ■ IR情報



<http://www.hirata.co.jp/ir/>

- IR情報に関するお問い合わせ先  
平田機工株式会社 管理本部 経理部 IR・広報室

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail [hirata\\_info@hirata.co.jp](mailto:hirata_info@hirata.co.jp)

## 平田機工株式会社

#### ■ 本社

〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目9-20  
TEL.03-3786-1226 FAX.03-3786-1264

#### ■ 熊本本部

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111  
TEL.096-272-0555 FAX.096-272-7901